

経営側の賃金抑制・定昇凍結攻撃を跳ね返し ベースアップを勝ち取ろう！

経団連は1月23日、2012春闘で経営側の指針となる「経営労働政策委員会（経労委）報告」を発表しました。

報告によると、東日本大震災により経済活力が低下、円高や電力不足などで日本は産業空洞化の危機にあると情勢を分析したうえで、「ベアは論外、定期昇給についても輸出企業では凍結、延期の可能性がある」とし、定期昇給凍結も示唆しています。さらに連合の1%賃金改善要求については「危機的な経営環境への認識が甘い」と批判し、2012春闘では賃金を厳しく抑制する方針を打ち出しました。

JR東海においては、3年連続でベアがありません。その意味では春闘に敗北してきています。その上、新人事賃金制度により、定期昇給額も逡減（2012年度からは一番低い社員で2,400円）しています。

このような中、復興増税により2013年1月から25年間、所得税が2.1%上乗せされ、住民税も2014年6月から10年間、1,000円加算されます。厚生年金保険料も2017年まで毎年引き上げられます。さらに政府は、消費税増税法案を今国会に提出する予定です。私たちの賃金は目減りし、生活は苦しくなる一方です。

経営側の賃金抑制攻撃を跳ね返す議論を職場からつくり出し、定期昇給を確保し、ベースアップを勝ち取ろう！

経団連「ベアは論外」

春闘、厳しい交渉に

経団連は二十三、期化による強い危機感
凍結も含め、厳しい交
空洞化の懸念が強ま
り、賃上げを容認しな
い姿勢はより強まっ
た。三月中旬の集中回
答日に向け、労使の交
渉は激しくなりそう
だ。

使った一廃止・縮小、
さらにはベスタウン
も話し合いの対象にな
り得る」という表現以
来の厳しい書きぶりとな
った。実態に合わない
くなった人事や賃金制
度の見直し議論も、中
長期的な課題に挙げ
た。

一方、連合が昨年に
続き、給与総額の1%
を目安にした増額を求
めていることに対して
は「要求根拠は薄弱。
企業の危機的な経営環
境を踏まえて、容
認姿勢を見せた昨年は
一転。〇四年春闘で

及歴史的な円高の長

動的に昇給する定期昇

からの回復過程にあっ

た。東日本震災の余

報告を公表し

〇一二年春闘での経

労働政策委員会（経労

引き上げるベースアッ

リーマン・ショック

と一蹴。年齢に応じ自

「ベアは論外」

「要求根拠は薄弱。